

情 報 公 開 文 書

研究の名称	リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学附属病院第一内科 篠田晃一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】全国の日本リウマチ学会リウマチ専門医が勤務するリウマチ科・膠原病内科においてリウマチ性疾患で通院中に 2020 年 1 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日までに新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と診断された患者さんのうち、2000 名を対象にします。</p> <p>【研究の目的・意義】現在、COVID-19 は世界中で大流行しており、社会的にも大きな影響を与えています。COVID-19 の多くは軽症で自然治癒するもしくは無症候性で推移する一方で、一部の患者さんでは致死的な肺炎を呈することはご存知の通りです。新型コロナウイルスは人類が未暴露のウイルスであり、COVID-19 の症状・臨床経過、重症化の危険因子・併存する疾患の影響など解明されていないことが多いのが現状です。当院で診療中のリウマチ性疾患についても COVID-19 の経過に与える影響についてはよく分かっておらず、症例を蓄積することが重要と考えられます。本研究は日本リウマチ学会リウマチ専門医が治療中のリウマチ性疾患患者さんのうち、COVID-19 と診断された患者さんの臨床情報を収集し、リウマチ性疾患が COVID-19 に与える影響を検討することを目的として計画されました。本研究により、リウマチ性疾患をお持ちの患者さんが COVID-19 に罹患した際の診療方針、注意点などが明らかになり、実際の診療に活かされるが期待されます。</p> <p>【研究の方法】この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報を解析し、COVID-19 におけるリウマチ性疾患の影響を明らかにします。</p> <p>(取得する情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢(生年月)、性別、妊娠の有無、人種、身長、体重、喫煙歴、電子タバコ喫煙、合併症、 ・リウマチ性疾患に関する項目：診断名、COVID-19 診断時の疾患活動性、治療薬、COVID-19 診断後の基礎疾患治療の有無・継続・中止、 ・血液検査結果 (COVID-19 診断前、COVID-19 診断時、診断後 1 週間の 3 時点): 白血球数、リンパ球数、好酸球数、ヘモグロビン、血小板数、CRP、LDH、AST、ALT、eGFR、BUN、D ダイマー、フェリチン、Na、K <p>【研究期間】研究の承認日から 2022 年 5 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】この研究に関する情報や研究成果等は、以下のホームページで公開します。</p> <p>日本リウマチ学会ホームページ URL https://www.ryumachi-jp.com/information/medical/covid-19_2/</p> <p>また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	試料は採取いたしません。 研究対象者の上記の診療情報を、大阪市立大学臨床研究・イノベーション推進センターの運営する電子症例報告書を用いて web にて登録し、集積したのち詳しい解析を行う予定です。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	九州大学病院別府病院内科、九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科、日本リウマチ学会 研究責任者：九州大学病院別府病院 内科 教授 堀内 孝彦 慶應義塾大学リウマチ内科 教授 竹内勤

	北海道大学内科 教授 渥美達也 北海道大学内科 講師 奥健志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者：九州大学病院別府病院 内科 教授 堀内 孝彦
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7287（富山大学医学部第一内科） FAX 076-434-5025 E-mail koichiro@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 内科学第一 助教 篠田晃一郎